

2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社和心 上場取引所 東
コード番号 9271 URL https://www.wagokoro.co.jp/
代表者（役職名）代表取締役（氏名）森 智宏
問合せ先責任者（役職名）管理部長（氏名）星野 将広（TEL）03-5678-0556
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,018	63.1	192	949.2	176	653.6	197	1,103.2
2023年12月期中間期	624	41.4	18	—	23	—	16	—

（注）包括利益 2024年12月期中間期 199百万円（977.5%） 2023年12月期中間期 18百万円（—%）

	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後1株当たり中間純利益	
	円	銭	円	銭
2024年12月期中間期	31	32	27	29
2023年12月期中間期	4	44	3	15

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	1,234	24.4	349	24.4	—	—
2023年12月期	1,024	9.4	142	9.4	—	—

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 301百万円 2023年12月期 96百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期（予想）	—	0.00	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2024年12月期の配当につきましては未定としております。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,900	42.7	300	516.7	265	—	255	—	40	33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2024年12月期中間期	6,337,500株	2023年12月期	6,302,500株
2024年12月期中間期	—株	2023年12月期	—株
2024年12月期中間期	6,305,000株	2023年12月期中間期	3,695,943株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	7
中間連結会計期間	
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、足踏みも見られますが景気は緩やかな回復の動きがみられました。しかし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクになっており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループの属する小売・サービス業界は、アフターコロナにおいて消費者の購買行動が順調に回復する中でも、食材価格や労働力不足による人件費上昇など、収益性の改善については厳しい状況は依然として続いております。また、2024年1月～6月の訪日外客数は約1,777万人となり、2019年同期比108.9%とコロナ禍前の水準を超え(出典：日本政府観光局(JNTO))、インバウンド需要は順調に推移しております。

このような経済環境の下、当社は「日本のカルチャーを世界へ」を経営理念に「日本文化を感じるモノを作り販売する」モノ事業及びその他事業の強化に引き続き取り組みました。消費者の外出機会や訪日外客数が増加していることから来店客数も増加しております。

当中間連結会計期間においては、来店客数が前年同期比45.1%と増加したため増収となりました。出来店につきましては、当中間連結会計期間においては、出店は3店舗あり、当中間連結会計期間末の店舗数は合計25店舗(前連結会計連結年度末比3店舗増)となりました。一方で、店舗関連費用の削減に取り組み、販売費及び一般管理費は482,519千円(前年同期比19.1%増)となりました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高1,018,710千円(前年同期比63.1%増)、営業利益は192,423千円(前年同期比949.2%増)、経常利益は176,297千円(前年同期比653.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は197,485千円(前年同期比1,103.2%増)となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(モノ事業)

モノ事業においては、観光客の増加や催事を21回行うことにより増収となりました。出店につきましては〔北斎グラフィック〕を3店舗出店しました。当中間連結会計期間末における店舗数は、〔かんざし屋wargo〕8店舗(前連結会計年度末比±0)、〔The Ichi〕3店舗(同±0)、〔北斎グラフィック〕8店舗(同3店舗増)、〔箸や万作〕2店舗(同±0)、〔猫まっしぐら〕2店舗(同±0)、〔1円着物wargo〕2店舗(同±0)、合計25店舗(同3店舗増)となりました。その他、ネット通販、OEMサービス等も行っております。

その結果、モノ事業の売上高は969,075千円(前年同期比60.4%増)、セグメント利益は301,808千円(前年同期比23.9%増)となりました。

(その他事業)

その他事業においては、静岡県を中心に空き家をリノベーションした不動産賃貸業及び宿泊施設を運営しております。

その結果、その他事業の売上高は49,635千円(前年同期比130.0%増)、セグメント利益は11,902千円(前年同期比1,286.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて185,121円増加し854,769千円となりました。これは主に売掛金が120,246千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて24,967千円増加し380,023千円となりました。これは主に投資その他の資産が24,209千円増加したことなどによります。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて210,088千円増加し1,234,792千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,220千円減少し802,178千円となりました。これは主に預り金が42,449千円減少し、前受金が32,063千円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5,320千円増加し82,650千円となりました。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3,100千円増加し884,829千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて206,988千円増加し349,963千円となりました。これは利益剰余金が

197,485千円増加したことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ89,670千円減少し、194,469千円となりました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは110,693千円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益207,632千円、棚卸資産の増減額29,690千円、仕入債務の増減額28,616千円、売上債権の増減額120,246千円などがあったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは144,538千円の支出となりました。これは主に貸付けによる支出113,300千円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは55,824千円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出58,631千円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想を、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり修正しております。なお、下記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,810	230	210	180	28.56
今回修正予想 (B)	1,900	300	265	255	40.33
増減額 (B-A)	90	70	55	75	—
増減率 (%)	4.9	30.4	26.1	41.6	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	1,330	48	11	△13	△2.72

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	284,139	194,469
売掛金	101,555	221,801
商品	162,296	133,563
前渡金	27,989	77,249
短期貸付金	16,000	126,618
その他	77,666	101,066
流動資産合計	669,648	854,769
固定資産		
有形固定資産		
建物	46,731	62,367
土地	53,299	51,728
建設仮勘定	59,753	45,745
その他	7,344	8,363
有形固定資産合計	167,129	168,205
無形固定資産		
ソフトウェア	1,540	1,221
その他	64	64
無形固定資産合計	1,604	1,285
投資その他の資産		
関係会社株式	74,158	85,855
敷金	91,191	104,467
その他	20,973	20,209
投資その他の資産合計	186,322	210,532
固定資産合計	355,056	380,023
資産合計	1,024,704	1,234,792
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,251	102,868
短期借入金	79,651	74,732
1年内返済予定の長期借入金	375,875	329,615
未払金	108,832	140,661
未払法人税等	40,665	25,087
未払消費税等	6,168	29,263
前受金	30,595	62,659
預り金	70,985	28,536
賞与引当金	4,713	4,853
その他	12,659	3,900
流動負債合計	804,398	802,178
固定負債		
長期借入金	72,351	59,979
訴訟損失引当金	4,671	4,671
その他	306	18,000
固定負債合計	77,330	82,650
負債合計	881,728	884,829

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	936,556	940,531
資本剰余金	941,904	945,879
利益剰余金	△1,781,973	△1,584,487
株主資本合計	96,488	301,923
新株予約権	27,555	27,516
非支配株主持分	18,931	20,523
純資産合計	142,975	349,963
負債純資産合計	1,024,704	1,234,792

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	624,234	1,018,710
売上原価	200,945	343,768
売上総利益	423,289	674,942
販売費及び一般管理費	404,949	482,519
営業利益	18,339	192,423
営業外収益		
受取利息	0	3
為替差益	1,019	—
受取手数料	3,000	4,438
持分法による投資利益	31,038	—
その他	687	536
営業外収益合計	35,746	4,978
営業外費用		
支払利息	2,708	3,583
株式交付費	13,349	255
貸倒損失	14,633	—
為替差損	—	1,128
持分法による投資損失	—	14,226
その他	—	1,912
営業外費用合計	30,691	21,105
経常利益	23,393	176,297
特別利益		
固定資産売却益	17,171	5,412
持分変動利益	—	25,922
特別利益合計	17,171	31,335
特別損失		
損害賠償金	18,000	—
特別損失合計	18,000	—
税金等調整前中間純利益	22,565	207,632
法人税、住民税及び事業税	4,090	8,554
法人税等合計	4,090	8,554
中間純利益	18,474	199,078
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	16,412	197,485
非支配株主に帰属する中間純利益	2,061	1,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	—
その他の包括利益合計	—	—
中間包括利益	18,474	199,078
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	16,412	197,485
非支配株主に係る中間包括利益	2,061	1,592

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	22,565	207,632
減価償却費	9,927	7,404
賞与引当金の増減額(△は減少)	△801	139
受取利息及び受取配当金	0	△3
支払利息	2,708	3,583
固定資産売却損益(△は益)	△17,171	△5,412
損害賠償金	18,000	—
貸倒損失	14,633	—
持分変動損益	—	△25,922
持分法による投資損益(△は益)	△31,038	14,226
売上債権の増減額(△は増加)	△33,508	△120,246
仕入債務の増減額(△は減少)	8,755	28,616
未払金の増減額(△は減少)	△51,846	29,188
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,263	29,690
その他	3,267	△22,257
小計	△67,772	146,637
利息及び配当金の受取額	0	3
利息の支払額	△2,708	△3,583
法人税等の支払額	△38,361	△32,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	△108,841	110,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,659	△38,531
有形固定資産の売却による収入	52,101	18,031
無形固定資産の取得による支出	△1,291	—
貸付金の回収による収入	—	2,681
貸付けによる支出	—	△113,300
敷金の差入による支出	△7,278	△13,620
保証金の回収による収入	6,783	—
敷金の回収による収入	100	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	46,755	△144,538
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	△4,918
長期借入金の返済による支出	△348	△58,631
リース債務の返済による支出	△184	△184
株式の発行による収入	549,903	7,910
新株予約権の発行による収入	2,455	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	551,826	△55,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	489,741	△89,670
現金及び現金同等物の期首残高	122,638	284,139
現金及び現金同等物の中間期末残高	612,379	194,469

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	モノ事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	604,128	20,106	624,234	—	624,234
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,070	2,070	△2,070	—
計	604,128	22,176	626,304	△2,070	624,234
セグメント利益	243,541	858	244,399	△226,060	18,339

(注) 1. 調整額 △226,060千円は、本社管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	モノ事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	969,075	49,635	1,018,710	-	1,018,710
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	1,380	1,380	△1,380	-
計	969,075	51,015	1,020,090	△1,380	1,018,710
セグメント利益	301,808	11,902	313,710	△121,287	192,423

(注) 1. 調整額 △121,287千円は、本社管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。